

第 39 回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会

The 39th Congress of Japanese Society of
Endourology and Robotics

医工連携・新技術検討委員会主催 医工連携企画 展示募集要項



一般社団法人 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会
医工連携・新技術検討委員会

委員長 日向 信之

広島大学大学院医歯薬学総合研究科 腎泌尿器科学

第 39 回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会

会長 近藤 幸尋

日本医科大学医学部 泌尿器科学教室

ご挨拶

時下、貴社におかれましては益々ご清栄のことお喜び申し上げます。平素は格別のご高配にあずかり、厚く御礼申し上げます。

このたび、第39回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会が、日本医科大学医学部 泌尿器科学教室 近藤 幸尋会長のもとで、2025年10月30日（木）～11月1日（土）の間、東京都新宿区にて開催されることとなりました。

本学会のテーマである内視鏡治療分野において、これまでも泌尿器科医はその発展に大きな貢献をされてまいりました。人体内部の内視鏡による初めての観察については、1853年にフランスの泌尿器科医が尿道から内視鏡を挿入して膀胱内を観察したことが報告されています。また、近年のロボット支援手術の普及にも泌尿器科医が多大な貢献をして参りました。2000年、初のロボット支援下手術システム da Vinci サージカルシステムがFDA（アメリカ食品医薬品局）により認可され、本邦においてもロボット支援手術は泌尿器科医によって前立腺癌や腎癌に対する手術を中心に日本中で広く用いられるようになりました。近年、泌尿器科以外でも保険適用が徐々に拡大され、今後もますますの発展が期待されている領域です。本邦では、現在、従来の da Vinci サージカルシステム以外に、hinotori サージカルシステム、Hugo RAS システム、da Vinci SP システム、Saroa と多くの手術支援ロボットが実臨床で使用可能となっています。

2019年に開催された第33回日本泌尿器内視鏡学会総会からは、医工連携企画として企業技術と医師のニーズマッチングを目的とした技術展示を、医工連携・新技術検討委員会主催で開催させていただき、両者にとって有意義な意見交換を行う場となっています。泌尿器科ではすでに前述のような先端的低侵襲手術が広く普及しており、国産医療機器開発の視点からもそのニーズは極めて多くかつ広く存在しています。特に、hinotori と Saroa の2機種は国産の手術支援ロボットとして開発販売がされています。しかし、残念ながら、機器開発に寄与するプラットフォームの整備は十分とは言えず、これまでこれらの知識や情報を収集する場が存在しませんでした。このたび、近藤 幸尋会長のご高配により、引き続きニーズマッチングを目的とした技術展示を開催することとなりました。

本企画では、経験豊富な泌尿器科医が「ツアーコンダクター」となり、アイデアやニーズを持った泌尿器科医とともに展示ブースをまわる医工連携展示ブースツアーや医工連携プログラムとして医工連携に精通した演者による講演やシンポジウムを予定しています。出展される企業様にとっては、貴社が持つ技術を、関心を持つ泌尿器科医へ向けてプレゼンする絶好の機会になると考えられます。企業と医師が活発な名刺交換、意見交換ができる場となるよう企画に工夫を凝らして参りたいと考えております。

泌尿器科領域では内視鏡手術から開腹手術、ロボット手術まであらゆる手術療法や、腎臓や膀胱、尿道へ挿入する各種カテーテルやガイドワイヤー、さらには手術支援用アプリケーションなど幅広い医療関連機器が販売されていますが、まだまだ医師のニーズ、製品の改良や発展の余地が多くございます。医工連携企画にご興味をお持ちの企業、団体様は、ぜひ出展の検討を賜れば幸いです。

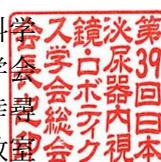
末筆になりましたが、貴社のますますのご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

謹白

2025年3月吉日

一般社団法人 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会
医工連携・新技術検討委員会
委員長 日向 信之

広島大学大学院医歯薬学総合研究科 腎泌尿器科
第39回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会
会長 近藤 幸尋
日本医科大学医学部 泌尿器科学教室



一般社団法人 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会 概要

名称（和文）： 一般社団法人 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会

名称（英文）： Japanese Society of Endourology and Robotics

理事長： 武中 篤（鳥取大学医学部器官制御外科学講座 腎泌尿器学分野）

住所： 〒104-0028 東京都中央区八重洲 2 丁目 11-6 八重洲KNビル 6F

TEL： 03-5542-1915

FAX： 03-5542-1925

URL： <https://www.jsee.jp/>

会員数： 約 4,950 名

設立： 1987 年

目的： 本会は、泌尿器内視鏡学をはじめとする泌尿器低侵襲医療及び泌尿器科領域の医療工学に関する研究、教育及びその普及、発展に努め、関連機関との連携を図り、もって国民の福祉の増進に寄与することを目的とする。

事業： 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 学術集会、学術講演会等の開催
- (2) 教育に関する事業
- (3) 機関誌、その他出版物の刊行
- (4) 泌尿器腹腔鏡技術認定制度に関する事業
- (5) 泌尿器内視鏡学に関する研究及び調査
- (6) 内外の関係学術団体との連絡及び提携
- (7) 啓発活動の実施
- (8) その他本会の目的を達成するために必要な事業

第 39 回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会 概要

会 議 名 称： 第 39 回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会

会 期： 2025 年 10 月 30 日（木）～11 月 1 日（土）

会 長： 近藤 幸尋（日本医科大学医学部 泌尿器科学教室）

会 場： 京王プラザホテル
〒160-8330 新宿区西新宿 2-2-1

テ ー マ： 克己殉公 -Keep on dedicating to others-

参加予定者： 2,000 名（予定）

総会事務局： 日本医科大学 泌尿器科
事務局長 遠藤 勇氣
〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

運営事務局： 株式会社コングレ
〒103-8276 東京都中央区日本橋 3-10-5 オンワードパークビルディング
TEL：03-3510-3701
E-mail：jser2025@congre.co.jp

※ 企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドラインに従い、関わる費用をウェブサイト等に公開することに同意します。

医工連携・新技術検討委員会主催 医工連携企画 開催概要

企画名称： 医工連携・新技術検討委員会主催 医工連携企画

開催日程： 2025年10月30日(木)・31日(木)

展示場所： 京王プラザホテル
〒160-8330 新宿区西新宿 2-2-1

実施責任者： 一般社団法人 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会
医工連携・新技術検討委員会 委員長 日向 信之

協力団体： 一般社団法人 日本医工ものづくりコモンズ

目的と意義： 各企業の有するユニークで優れた技術の紹介を主旨とし、要素技術と医師のニーズのマッチングを目的とする。

展示ブース数： 30ブース予定

- 企画予定：
- 1) 医工連携プログラム
医工連携に関する講演、シンポジウムの実施を予定しております。
 - 2) 医工連携展示
高度なものづくり技術を有する企業・団体、または地域産業支援機関によるブース展示を実施いたします。
 - 3) 医工連携展示アワードの募集
泌尿器内視鏡、低侵襲治療の分野等において日本国内のものづくり企業との医工連携によって優れた製品を販売された会員を表彰するために、JSER 医工連携アワードを募集いたします。受賞者は会期中に表彰式を行います。
 - 4) 会員懇親会への参加
医工連携展示参加証もしくは総会の参加証をお持ちの方は、2025年10月31日(金)に実施します会員懇親会へご参加いただけます。

※ 上記企画とあわせて、意見交換会（オンライン）を会期前に複数回実施する予定です。本学会における医工連携企画の詳細説明とあわせ、参加予定企業様からの学会に対するご希望やご要望をヒアリングし、当日の企画に取り入れていく方針としております。詳細については改めてご案内させていただきます。

医工連携企画展示 出展要項

1. 開催概要

- 1) 会場 京王プラザホテル
- 2) 日程
- | | | |
|-------|-----------|-------------|
| 搬入・設置 | 10月30日(木) | 8:00~10:00 |
| 展示 | 10月30日(木) | 10:00~18:00 |
| | 10月31日(金) | 9:00~18:00 |
| 搬出・撤去 | 10月31日(金) | 18:00~20:00 |

※ 医工連携展示は10月30日(木)・31日(金)の2日間開催となります。
(懇親会が18:30~20:30なので参加される方は20:30以降の搬出・撤去も可能です。)

- 3) 出展対象 高度なものづくり技術を有する企業・団体、または地域産業支援機関

4) 出展料及び募集小間数

種類	単位	小間サイズ	出展料 (消費税10%込)	募集小間数 (予定)
基礎小間	1小間	1.62 m ² (W1.8m×D0.9m×2.1m)	11,000円	30小間

5) 展示小間割の決定

出展規模、出展内容、申込順等を考慮し、医工連携・新技術検討委員会にて決定いたします。
1社1ブースが基準となります。出展社が主催者の承諾なく、小間の全部または一部の譲渡や
展示場所の交換を行うことはご遠慮ください。

6) 出展物

本展示は製品ならびに製品情報の展示ではなく、要素技術と医師ニーズのマッチングを目的としており、各企業の有する技術の紹介が展示の主旨となります。

完成品の販売促進が目的となる場合は、学会本体の展示の方へお申込ください。

※ ただし、JSER 会員が企業と共同で製作したものを展示することは、医工連携の促進に

繋がる可能性があるため、販売促進が目的となる場合でも展示を認めることといたします。

※ 展示物等が本企画主旨に合わない場合、出展をお断りすることもございます。

7) 薬事法未承認品の展示について

展示会事務局にお問い合わせください。

8) 出展者へのご案内

開催の1ヵ月前までに小間割、搬入、装飾、管理などについて詳細をご連絡します。

什器・照明器具などのリースもこの時にご案内いたします。

9) 出展物の販売の禁止

会期中、現金と引き換えに出展物を引き渡すことは禁止します。(書籍展示のぞく)

10) 会場の管理

会場及び出展物の保全については、最善の保護と管理にあたりますが、天災、その他の不可抗力による事故、盗難、紛失、及び小間内における人的災害の発生については責任を負いません。

11) 会場・会期・開場時間の変更

やむを得ない事情により会場、会期及び開場時間を変更する場合があります。この変更を理由として出展申込を取り消すことは出来ません。またこれによって生じた損害は補償いたしませんので、予めご了承ください。

12) 医工連携企画への参加資格について

1社につき3名様まで医工連携企画参加証を発行いたします。3名を超える参加者につきましては、別途「第39回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会」の参加申込が必要となります。

2. 申込方法

本募集要項の内容をご確認のうえ、締切日までに第39回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会ホームページよりお申込ください。

3. 申込締切

2025年8月31日(日)

※ただし、募集小間数に達し次第、申込を締め切ります。

4. 出展料のお支払

申込締切後、請求書をお送りしますので、下記の指定口座までお振込をお願いいたします。

銀行名：みずほ銀行(0001)本郷支店(075)

口座番号：普通 4217073

口座名義：第39回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会

ダイ 39 カイホンヒニョウキョウ ロボ テイクスガ ヲカイウカイ

5. 設置概要

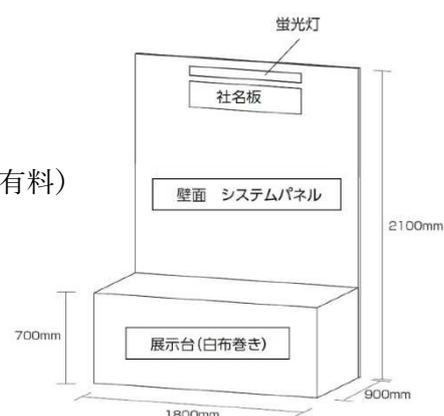
1) 小間企画

基礎小間：1小間=間口1.8m×奥行0.9m×高さ2.1m

- 間仕切りの後壁(パネル色：ホワイト ベニヤ仕様 システムパネル) 社名板(白地、黒文字)
※ 社名板に貴社名のロゴ等が必要な場合はご指示ください(有料)
- 展示台1台(W1,800×D900×H700)
- 白布付き(商品の上にかけるクロスはご持参ください)

以上の物は展示会事務局にて設置いたします。

上記以外の小間内装飾は出展者が行ってください。



2) 禁止事項

- 装飾物、展示物の高さは、2.4mに制限します。
- 床面および会場壁面への直接工作(ガムテープ、アンカー等)、作業(床や壁にカッターナイフを直接あてた作業等)は禁止します。
- 通路等、自社ブース以外に避難の妨げとなる設備や物を設置することも出来ません。

3) 電気

出展者の希望により有償で、電気（交流単相二線式 100V60 ヘルツ）を開閉器にて小間まで供給します。

（それ以外の特殊電源に関しては別途ご相談ください）

電気一次幹線工事代金については追ってご案内いたします。

4) 使用制限

給排水を伴う水の使用はできません。また、プロパンガス等危険物の使用は禁止します。

給排水を伴わない水、レーザー光等規定に無いものの使用については事前に展示事務局にご相談をお願いいたします。

5) 重量物

展示スペースの床耐荷重 200kg/1 m²とします。また、100kg/m²以上の重量物を展示する場合、10mm 以上のコンパネで床面を養生してください。

※重量物がある場合は必ず展示会事務局にご相談下さい。

6) 装飾工事

- 不燃性、準不燃性の物を使用し、特にカーペット・カーテン・布製装飾物・展示用ベニア等は 防火処理を施したもの（防火物品）を使用してください。
- 天井構造は原則禁止いたします。
- 施設内の床・天井・梁、扉、可動間仕切り・サッシ、ダクト、吸入出口配管、配線類、照明器具、盤類等について直接工作の作業は禁止いたします。

7) 消防当局の指導・命令

装飾施工中および開会当日、消防署の査察が入る場合もあります。この際、不適切とみなされた場合は、変更または展示の中止を求められることもありますので、ご注意をお願いいたします。

6. 医工連携企画参加証について

- お申込みいただいた企業様には、申込内容に応じて参加証を発行いたします。
- 1 社につき 3 名様まで医工連携企画参加証を発行いたします。3 名を超える参加者につきましては、別途「第 39 回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会」の参加申込が必要となります。
- 参加証は、見える位置に身につけていただき、参加証の着用がない場合は入場を固くお断りする場合がございます。
- 会場では一般参加者が出入り可能な場所に限り、自由に入場いただいて結構です。ただし、各種委員会や打合せ会への入室などはお断りいたします。
- ランチョンセミナーやスポンサーセミナーなどは、各セミナー共催企業の担当者に許可をお取りください。
- 講演会場内での携帯電話、もしくはそれに代わる通信手段の使用は固く禁止いたします。電源を切るかマナーモードに設定してください。
- 発表、討論を通じて、患者様個人が特定できる、もしくは、プライバシーに触れる可能性がある事項に関しては、学会外での公表はご遠慮ください。
- 会期中、研究者・医師、その他個人参加者への面談に関して、運営側、事務局では、アポイントメントやスケジュールの調整、面談の仲介等は一切行いません。
- なお、総会全体に関する公表・掲載に際しては、運営事務局までご連絡ください。本学会に関わる公表・掲載については、学会事務局までご連絡ください。

医工連携・新技術検討委員会 委員一覧

委員長	日向 信之	広島大学大学院医歯薬学総合研究科腎泌尿器科学
副委員長	秦 聡孝	大分大学医学部附属病院腎泌尿器外科学講座
委員	小路 直	東海大学医学部 外科学系泌尿器科学
委員	影山 進	滋賀医科大学 泌尿器科学講座
委員	榎山 和秀	横浜市立大学医学部附属病院 泌尿器病態学
委員	荒木 元朗	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 泌尿器病態学
委員	古川 順也	徳島大学大学院医歯薬学研究部 泌尿器科学分野
委員	浮村 理	京都府立医科大学泌尿器科学教室
委員	安部 崇重	北海道大学大学院医学研究院 腎泌尿器外科学教室
委員	小島 祥敬	福島県立医科大学医学部 泌尿器科学講座
理事長	武中 篤	鳥取大学医学部器官制御外科学講座 腎泌尿器学分野
大会長	近藤 幸尋	日本医科大学医学部 泌尿器科学教室
実行委員	森實 修一	鳥取大学医学部器官制御外科学講座 腎泌尿器学分野
実行委員	青山 真人	医療法人宝生会 PL病院 泌尿器科
実行委員	井上 貴昭	原泌尿器科病院 泌尿器科
実行委員	大関 孝之	和泉市立総合医療センター 泌尿器科
実行委員	小島 浩平	広島大学大学院医歯薬学総合研究科 腎泌尿器科学
実行委員	坂本 信一	千葉大学大学院医学研究院 泌尿器科学
実行委員	成田 伸太郎	秋田大学医学系研究科 泌尿器科
実行委員	池田 篤史	筑波大学附属病院 腎泌尿器外科
実行委員	佐々木 雄太郎	徳島大学大学院医歯薬学研究部 泌尿器科学分野
実行委員	増井 仁彦	国立大学法人京都大学医学部附属病院 泌尿器科
実行委員	田口 和己	名古屋市立大学大学院医学研究科 腎・泌尿器科学分野
実行委員	小林 聡	九州大学大学院医学研究院 泌尿器科学分野
実行委員	西田 幸代	札幌医科大学医学部 泌尿器科学講座
大会校委員	遠藤 勇気	日本医科大学医学部 泌尿器科学教室